

「中立の立場で勉強会」

知事会見 県内での処理めぐり

鈴木英敬知事は五日のぶら下がり会見で、東日本大震災の発生から一年となる三月十一日、東京都の国立劇場で開かれる政府主催の追悼式典を県総合文化センター（津市一身田上津部田）で中継すると発表した。鈴木知事も出席する。「ご家族を亡くされた方々はいまだつらい思いでおられると思う。日本全体に教訓を残した震災。県での防災対策にもしっかりとつなげる」とあらためて誓った。一方、被災地のがれきの広域処理については、「市や町の皆さんと議論している様子を、混乱を避けるためにもなかなか表にできない」と説明。「引き続き市長会、町村会と中立の立場で勉強会をしていく」と述べるにとどめた。

また、東日本大震災の被災地のがれき受け入れをめぐり、鈴木知事が「中立立場」を表明している点を、同委員は「この問題で中立はない。住民と直接向き合っている市町に責任を負わせてしまうのはあまりに酷」と批判。鈴木知事は「判断を市町に丸投げし、逃げていることは一切ない。私の意向を表にオープンにして無用な混乱を招いてはならない」と述べた。